

福祉のまちづくり部会 報告

1 開催状況と協議事項

	時 期	協議事項
第 2 回	令和 5 年 10 月 27 日 (金)	1 鉄道事業者の取組について (1) 西武鉄道株式会社 (2) 東京地下鉄株式会社(東京メトロ)鉄道本部 (3) 東京都交通局 2 福祉のまちづくり推進に向けた現状等について

2 いただいた主なご意見

1 鉄道事業者の取組について

西武鉄道株式会社からは、バリアフリー料金制度を活用したバリアフリー整備の計画や、練馬区内駅におけるホームドア整備計画に関して報告があった。

東京地下鉄株式会社(東京メトロ)鉄道本部から、現在導入している視覚障害者向けナビゲーション「shikAI」についてのご紹介と今後の展開予定について報告があった。

東京都交通局からは、駅構内や車両におけるバリアフリー設備のご紹介、今後のホームドア整備予定等について報告があった。

○鉄道事業者各社で提供されているサインを統一できないか。

→各社、サインのガイドラインを作成しており、その基準に沿って作成している。

できる限り分かりやすくという配慮はなされているが、各社統一という段階ではない。ターミナル駅等は行政主導で統一している例もある。

UD フォントの活用やカラーユニバーサルデザインに配慮する等の点は、今後検討する必要がある。

○どの電車がどこのホームにくるのか、また、人身事故等で電車が止まった時等の情報提供について、もう少し改善を。

→どの情報をどこまで開示していくのかについては、社内でも改めて検討する。

緊急事態の際は、駅員に聞いてもらえれば対応するので、駅員に声をかけてほしい。

○ナビゲーションアプリについては、障害分類にとらわれず利便性向上の可能性はある。

→現在、様々なものが開発されている段階。区としても情報を収集し、誰にでも使いやすく安全性も確保できるのか等を引き続き検討していく。

2 福祉のまちづくり推進に向けた現状等について

練馬区の人口や高齢者、障害者の状況等の基礎数値の報告と東京都における福祉のまちづくり推進の方向性等に関する情報提供、都の方向性を受けた区の実践について報告。

○駅のバリアフリー化がより望まれているとのことだが、区としての財政支援は。

→ホームドア整備補助金等を活用頂いている。